



PIXEL COMPANYZ INC.

2020.08.13

ピクセルカンパニーズ株式会社
2020年12月期 第2四半期決算事業説明資料

Copyright(c) PIXELCOMPANYZ INC. All right reserved.

PIXEL
COMPANYZ INC.

■目次

■ ピクセルカンパニーズ 会社概要

■ 第2四半期ハイライト

- システムイノベーション事業（ピクセルソリューションズ株式会社）

- ディベロップメント事業（ピクセルエステート株式会社）

- エンターテインメント事業（ピクセルゲームズ株式会社）

- ピクセルカンパニーズ連結業績

■ お知らせ（2020年7月以降）

■ 質疑応答

【免責事項】

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しです。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績を確約するものでなく、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、予めご承知おきください。

また、新たな情報、将来の事象、そのほかの結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改定するとは限らず、当社グループはそのような義務を負いません。尚、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもございません。

■ピクセルカンパニーズ 会社概要

PIXEL COMPANYZ INC.

名称
ピクセルカンパニーズ株式会社
－PIXEL COMPANYZ INC.－

代表者
吉田 弘明

設立
1986年10月

資本金
2,777百万円 (2020年6月30日現在)

従業員数
48名 (連結・アルバイト含)

証券取引所
東京証券取引所
JASDAQ (スタンダード)
証券コード 2743

事業内容
グループ全体の経営方針・
戦略策定・経営管理

経営理念

個性という輝きとグループの絆をもって
誠実で大きなビジネスを通じ
ひとりひとりが誇りをもって豊かな人生を歩む

PIXEL COMPANYZ GROUP

システムイノベーション事業 (旧 : Fintech・IoT事業)
ピクセルソリューションズ株式会社

ディベロップメント事業 (旧 : 再生可能エネルギー事業)
ピクセルエステート株式会社

エンターテインメント事業 (旧 : IR関連事業)
ピクセルゲームズ株式会社

その他(海外)事業
海伯力国際貿易 (上海) 有限公司

その他(海外)事業
HYBRID(HK)CO.,LIMITED

■ 事業概要

1. 受託システム開発

- ✓ ワンストップサポート
- [計画]-[要件定義]-[移行]-[本番稼働]-[保守]

2. 技術支援サービス

- ✓ 適用業務開発
- ✓ 基盤構築
- ✓ 運用業務
- ※お客様のニーズに相応する人財の提供により
幅広くIT業務をサポート

» エンジニア

- ✓ 約70名 (パートナー企業含む)
- ✓ 多様なプログラミング言語対応
HTML・PL/I・VB・ASP・Java・Rudy・XML・CC++
・C#・Swift・Perl・.Net・COBOL・ASSEMBLER 他

■ 実績紹介

» 開発実績(一例)

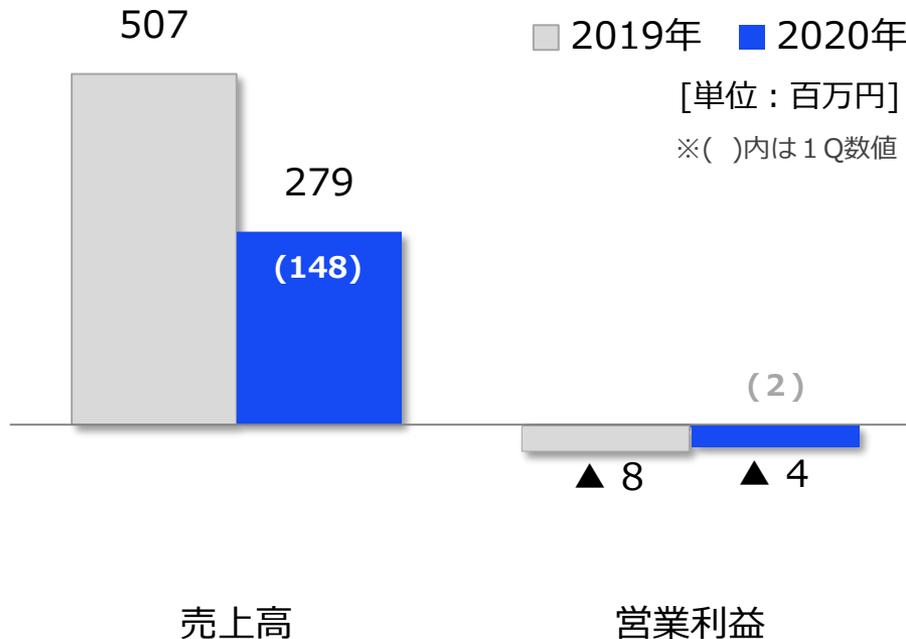
- ✓ ブロックチェーン技術を用いたシステム開発
 - ・ブロックチェーンプラットフォーム：
Ethereum, Quorum, NEO, Hyperledger
 - ・ゲームアプリコイン, 地域共通通貨, カジノ用決済システム
- ✓ 顔認証システム開発
 - ・金融機関向け本人識別用システム (KYC)
- ✓ クラウドファンディングシステム
 - ・クラウドファンディングプラットフォームの基幹システム

» 主な取引先

- ・金融機関 (大手信託銀行、大手損保、大手証券会社)
- ・大手広告代理店
- ・大手通信会社
- ・官公庁、自治体
- ・ゲーム制作会社
- ・大手家電量販店グループ 他

■ セグメント成績

売上高・営業利益（前年同期比）



■ 2020年主な事業活動

～収益の安定化・増収増益に向けて～

- ✓ デジタルトランスフォーメーション(DX)(※1)の実現に向けたシステム構築
- ✓ DXの実現にむけたECサイトの構築・推進
- ✓ 個人認証システムをベースに先進的なFintech-サービスの構築
- ✓ 既存事業の粗利率の改善

■ 新型コロナウイルス感染症による影響

2020年第2四半期への影響

- ✓ 顧客のテレワークによる発注遅延・検収遅延
- ✓ 顧客予算縮小による開発要員の削減

想定リスク

- ✓ 在宅勤務等の長期化により開発スケジュールの遅延案件が増加
- ✓ 顧客とのテレワークやテレビ会議等により発注処理や検収(テスト)遅延
- ✓ 顧客の下期予算の削減等による発注案件数の減少

✓ コロナ禍の影響によるインハウス型(※2)受託案件の減少等から前年同期比で売上高の減少

✓ 原価の先行計上等により営業損失の計上

■ 事業概要

1. 太陽光発電施設の販売・設置・取次

- ✓ 利回り商品として投資家などへ販売
⇒ 表面利回り10%前後に商品化し提供

2. 不動産開発・販売

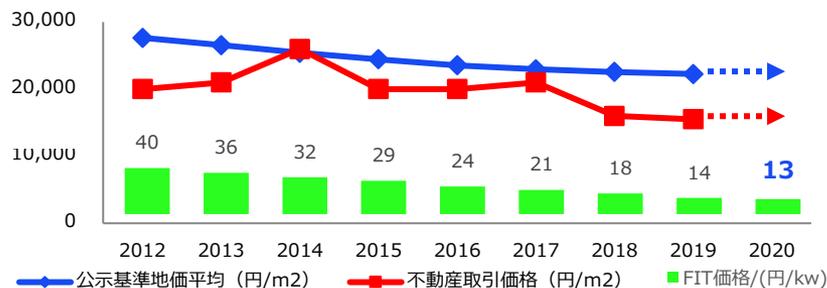
- ✓ 観光促進に伴うインバウンドおよび国内需要向けリゾート用地、付帯事業用地、周辺再開発用地の仕入販売

- ▶ 宮古島リゾートホテル用地開発計画（仮称）に参画

- ✓ 商業施設、商業ビル、ホテル等の仕入販売

【参考-図表】 FIT価格と仕入価格推移（土地価格例）

✓ FIT価格の下落に比例し仕入価格も下落傾向



■ 太陽光発電施設案件 進捗状況

	案件名	規模 (約kw)	連系 (予定)	進捗/スケジュール ※2020年6月30日時点
1	兵庫県S発電所	310	2月	連系・販売済み
2	兵庫県T発電所	1140	3月	連系・販売済み
3	長崎県 I 発電所	445	3月	連系・販売済み
4	長野県O発電所	113	4月	連系・販売済み
5	福岡県M発電所	491	5月	連系・販売済み
6	兵庫県T発電所	1179	(3Q)	進行中
7	九州低圧14区画	1226	(4Q)	進行中
8	兵庫県T発電所	633	-	進行中
9	長野県N発電所	1608	-	進行中

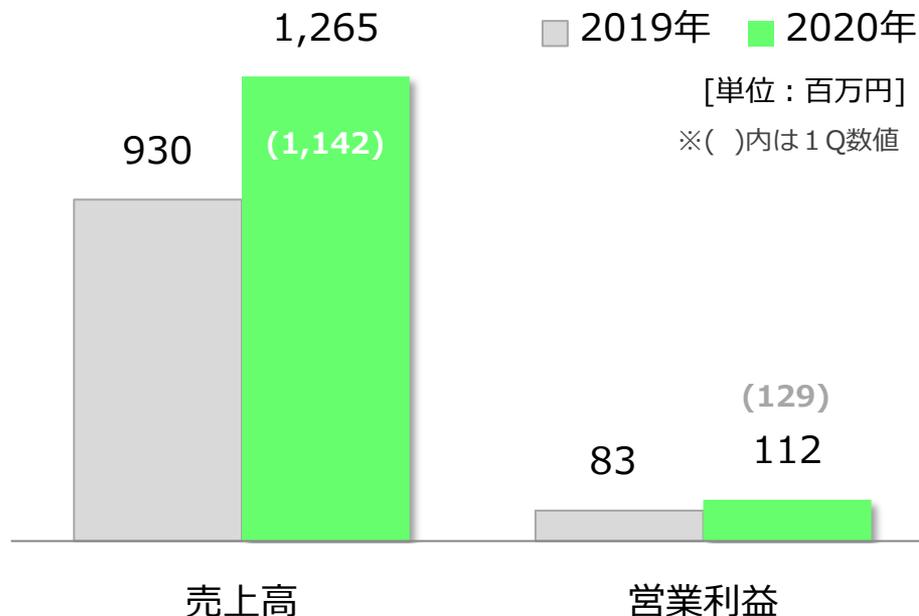
■ 販売状況(太陽光・不動産)

	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
2019年実績	3件	1件	0件	5件	9件
2020年	4件	2件	-	-	-件
前年比	+1件	+1件	-件	-件	-件

※2019年実績は太陽光発電施設の販売のみとなります。

■ セグメント成績

売上高・営業利益（前年同期比）



■ 2020年主な事業活動
～収益の安定化・増収増益に向けて～

- ✓ 太陽光発電設備の仕入販売強化
- ✓ 工程管理の徹底により期ズレの防止
- ✓ リゾート用地・ホテル用地の仕入販売

■ 新型コロナウイルス感染症による影響

2020年第2四半期への影響

- ✓ 工事スケジュールに一部遅延傾向
- ✓ 緊急事態宣言期間の移動制限により商談、手続き等遅延

想定リスク

- ✓ 資機材調達における輸入状況や生産調整等による納期遅延
- ✓ 工期遅延、および連系の期ズレ
- ✓ 各種申請等の手続き遅延
- ✓ 投資家における投資意欲の低下

- ✓ 太陽光案件において前年同期からの期ズレ案件の連系・引渡完了による売上を計上
- ✓ 前年同期比では売上高、営業利益ともに増加するも、当第2四半期(4-6月)においては、売上の縮小により第1四半期(1-3月)から営業利益が減少

■ 事業概要

1. カジノゲーミングマシン販売・企画・開発・保守

✓ 販売先：海外カジノ運営施設、販売代理店

» 開発実績

✓ スロットマシン：RGX-1000シリーズ

✓ 適合済み国際基準《テスト機関：bmm Testlabs(※1)》

▶ DICJ“Macau”Standards(※2)

① Electronic Gaming Machines Technical Standards

[ハードウェア ⇄ ソフトウェア] – 基幹(ベース)システム

② Jackpot Technical Standards

[多種のマシンやジャックポット、ディスプレイ通信等] – ジャックポット機能

③ Advanced Funds Transfer (AFT)

[マシンとカジノ会計システム(SAS)を繋ぐ最新電子資金振替システム] – AFT対応機能

✓ 申請中/申請準備中 ※国や地域ごとの規制当局毎に申請

▶ 北米 ▶ フィリピン

2. PIXEL CASINO PLATFORM(PCP)企画・販売

✓ 販売先：国内企業(新規参入/IPホルダー(※3))

✓ ゲーミング開発におけるカジノ参入ソリューション

・当社のカジノマシンプラットフォームを活用し、有名IPをカジノゲーミング化、開発期間・コストの圧縮を実現

・[企画]-[開発]-[製造]-[販売支援]までワンストップソリューションを提供

■ 販売進捗状況

マシン	開発	認証 検査 (※4)	規制当局 申請 (※5)	販売活動			販売
				検査 申請 (※6)	施設内 テスト (※7)	トライ アル	
マカオ①					★カジノ施設内テスト DICJ現地立会検査待ち		
マカオ②							
マカオ③							
マカオ④							
フィリピン			フィリピン(PAGCOR)				※テスト設置や販売の際の輸入時にテストレポートを提出

PCP	商談	契約	開発	認証 検査	規制当局 申請	販売 活動	販売
A(パチスロ)							
B(ゲーム)							
C(パチスロ)							
D(パチスロ)							

(※4)認証検査：検査機関（Bmm等）による各地域基準に準じた検査の適合を得る

(※5)申請：各地域における政府規制当局（マカオDICJ等）に機械や販売許可を申請し承認を得る

(※6)カジノ施設との設置協議による仕様変更後、再度「検査」「申請」が必要（国・施設ごとに相違）

(※7)施設内テスト：カジノ施設の会計システム等と実機の連動確認テスト後、マカオの場合、規制当局DICJによる現地立会い検査を要する

■ 日本版Integrated Resorts(日本IR)への参入について

1. ピクセルカンパニーズグループ活動内容

- ✓ 海外のIR事業者やIR領域の投資家とのネットワークを形成
- ✓ 日本IRへの事業参入を目指す有力候補地の自治体や地元企業へ積極的にアプローチ
- ✓ 候補地のIR誘致準備支援、海外事業者との仲介役
- ✓ 情報提供依頼(RFI)、事業構想公募(RFC)、事業提案公募(RFP)に参加/参加準備
 - ▶ コンソーシアム(※1)の組成によりRFP参加



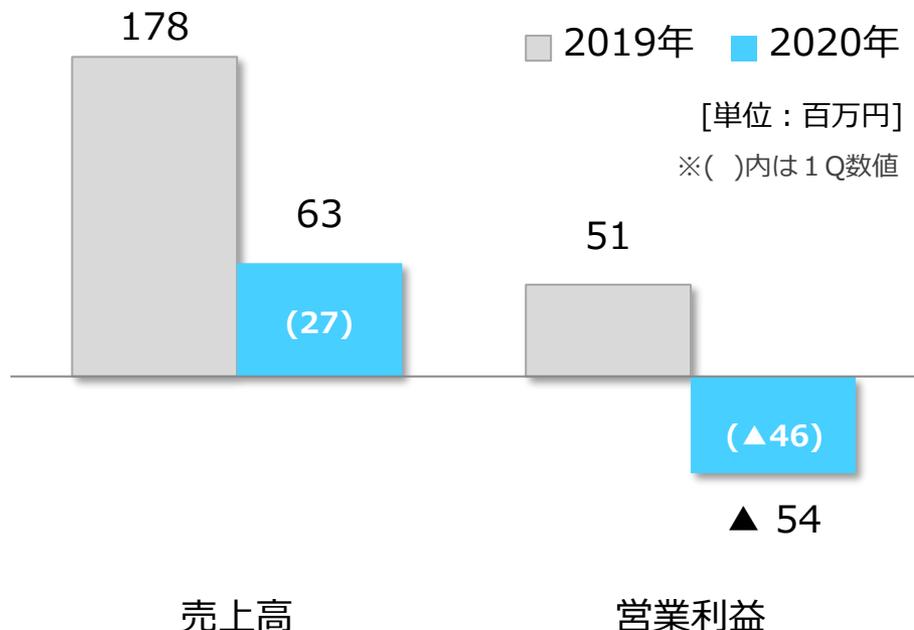
RFP参加に向けたコンソーシアムの 組成/参画の開始

2. 日本IR開業までの流れ



■ セグメント成績

売上高・営業利益（前年同期比）



■ 2020年主な事業活動

～収益の安定化・増収増益に向けて～

- ✓ カジノゲーミングマシン（TEKKENシリーズ含む）の販売および販路拡大
- ✓ PCP販売の拡大【新規有名IPの獲得・開発受託】
- ✓ e-Sports関連の事業化
- ✓ ゲーミングアプリケーションシステム開発・販売
- ✓ 日本版Integrated Resorts(日本IR)コンソーシアムへの参画

■ 新型コロナウイルス感染症による影響

2020年第2四半期への影響

- ✓ 海外渡航禁止、カジノ施設の休業等による販売活動の停止

想定リスク

- ✓ マシン販売案件の延期や中止、および需要数の減少
 - ・渡航制限によるカジノ施設への来場者の減少(※1)
 - ・長期化による海外IR事業者の財務状況の悪化(※2)
 - ・カジノ施設の営業縮小・休業延長・稼働率制限等(※3)
- ✓ 認定機関における検査や各国当局の許認可手続きの遅延

✓ ゲーミングアプリケーションシステム開発・販売により売上を計上するも、コロナ禍に伴う海外渡航制限や

海外カジノ施設の休業等によるゲーミングマシンの販売活動停止から営業利益の減少

✓ 前年同期比で売上高、営業利益ともに減少

※1) マカオ：外国住民（マカオ、中国本土、香港、台湾の住民除く）の入境禁止（中国国内でマカオ観光ビザ発給段階的再開：8/12珠海市、8/26広東省・9/23中国全土予定）

※2) マカオカジノ市場(2020.7月DICJ発表)：2020.6月カジノ粗収益（GGR）前年同月比97.0%減（4月：96.8%減、5月：93.2%減）

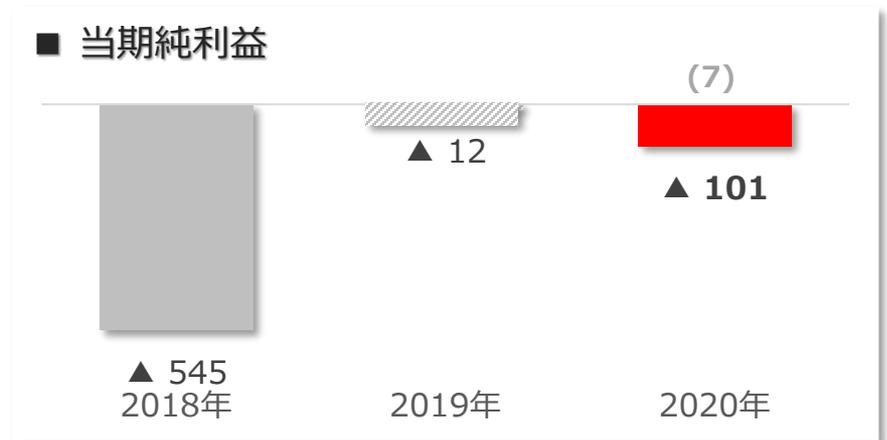
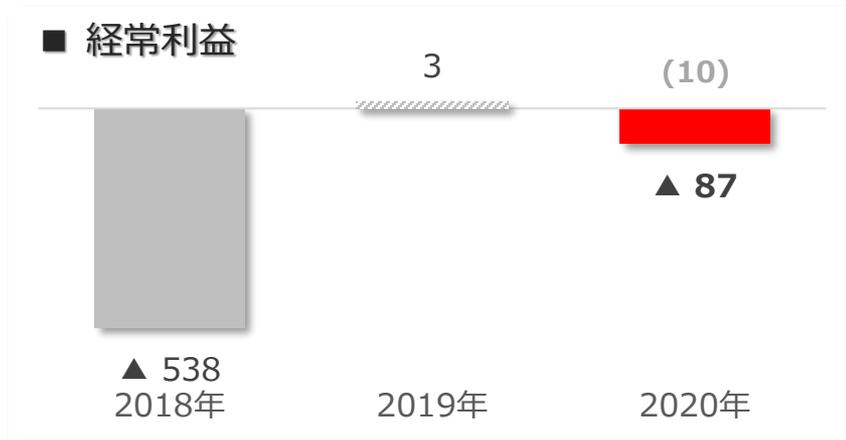
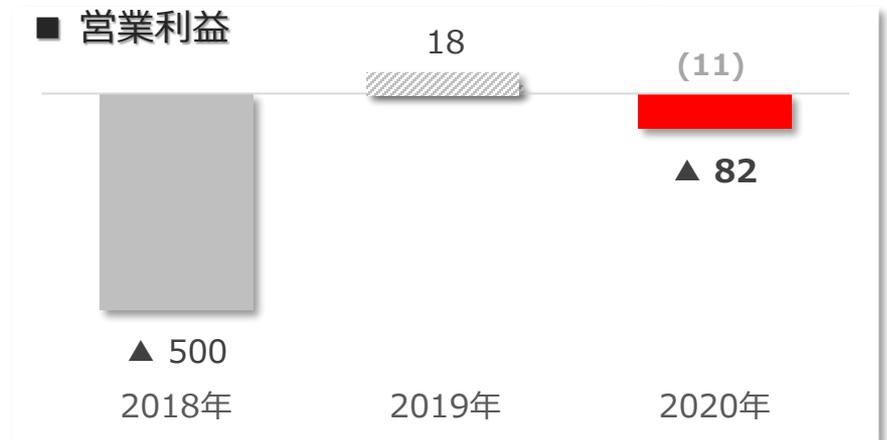
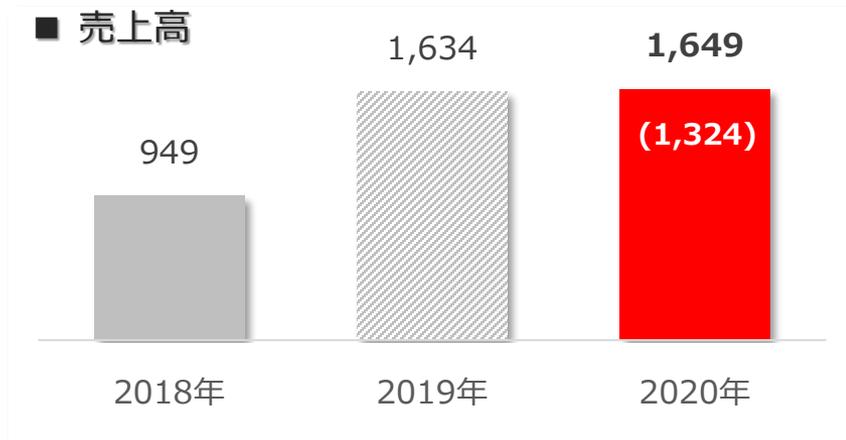
※3) 米国ネバダ州：2020.6月よりカジノの営業再開するも、カジノフロアの稼働率をキャパシティの50%以下、または25%以下等の制限営業

■ ピクセルカンパニーズ連結業績

■ 連結経営成績 [3カ年同四半期比]

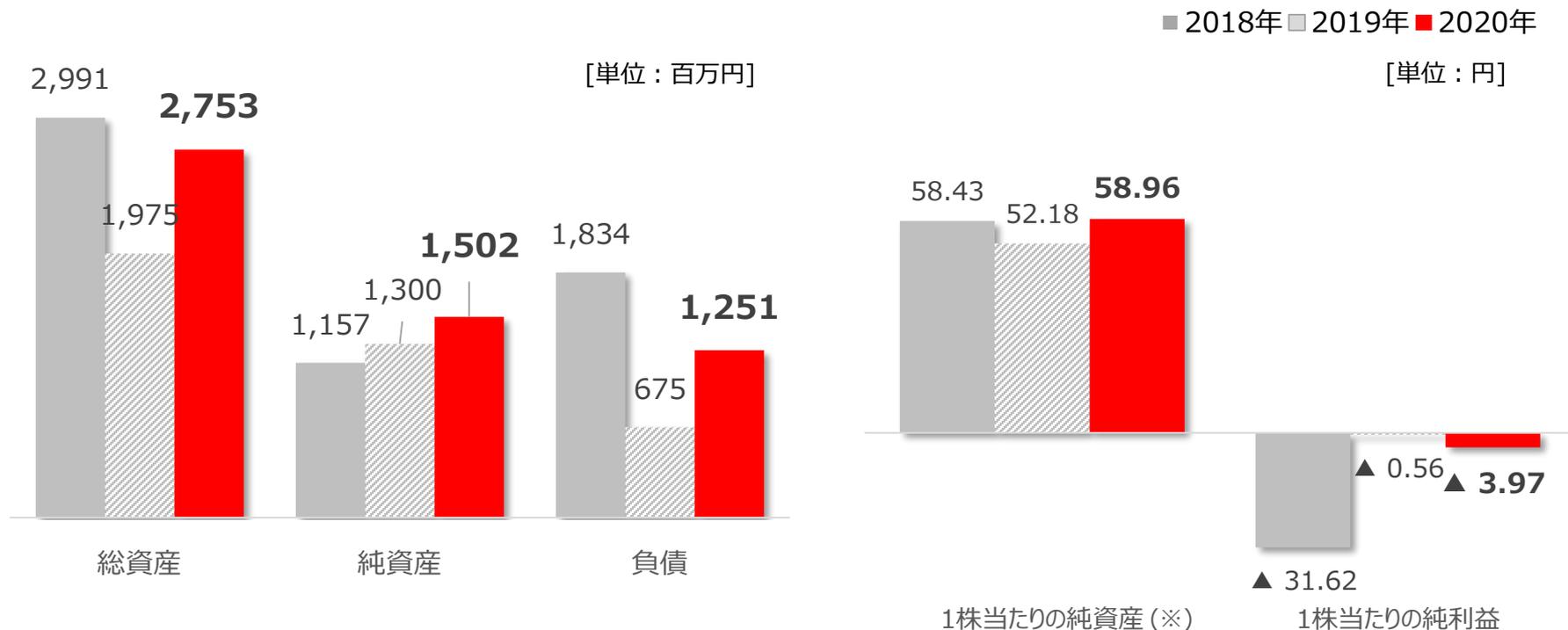
✓ 新型コロナウイルス感染症の影響（緊急事態宣言で営業活動に制限等）により
売上高の縮小と営業利益の減少

[単位：百万円]



■ ピクセルカンパニーズ連結業績

■ 連結財務状況 [3カ年同四半期比]



- ✓ ディベロップメント事業における太陽光案件の仕入とリゾート開発用地の取得に係る前渡金の増加により総資産の増加
- ✓ ディベロップメント事業における太陽光案件の仕入に係る短期借入金の増加により負債の増加

1. 第三者割当により発行される新株式及び第11回新株予約権の募集

- (1) 割当先：株式会社TTLリゾーツ 代表取締役 津村靖権
- (2) 割当予定日：2020年8月19日（当社取締役会決議：2020年7月30日）
- (3) 割当株式：①新株式2,100,000株 ②新株予約権139,000個（13,900,000株）

✓ 潜在株式数

✓ 総発行株式数 25,486,600株 (2020年6月30日時点)	27,586,600株 (割当後)	41,486,600株 (全数行使後)
✓ 潜在株式	①新株式	②第11回新株予約権
発行数	2,100,000株	13,900,000株
発行価格(円/1株)	170円	2.22円
調達資金額(発行)	357,000,000円	30,858,000円
行使価格(円/1株)	－	170円
調達予定資金額	－	2,363,000,000円

2. 株式会社TTLリゾート（TTL社）との資本業務提携契約の締結

- (1) 提携先：株式会社TTLリゾート 代表取締役 津村靖権
- (2) 提携予定日：2020年8月19日（当社取締役会決議：2020年7月30日）
- (3) 提携目的：海外IR関連事業者との豊富なリレーションを有するTTL社と日本IRコンソーシアムの組成/参画
- (4) 資本提携：第三者割当による当社株式の保有（前13ページ記載）



3. Group Partouche SA（Partouche社）がコンソーシアムに参画

当社が参画するIRコンソーシアム（TTL社との共同組成）と欧州大手カジノオペレーターであるPartouche社が、当該コンソーシアムへの参画に関する基本合意を締結いたしました。

✓ コンソーシアムパートナー

Groupe Partouche SA

1973年創業、ユーロネクスト・パリ（証券取引所）に上場する欧州大手・フランスのカジノオペレーター

代表者 Patrick Partouche

従業員数 4,000人

運営カジノ数 フランス：38、スイス：2、ベルギー：1、チュニジア：1

その他運営 ホテル：12、劇場：52、レストラン：55、スパ：6
ゴルフ場：2、カードクラブ：1

参考URL ホームページ【<https://www.groupepartouche.com/>】



今後、地方自治体がおこなうRFPプロセスの参加と日本版IRの開業に向けて、随時、国内外の企業や団体が、当社とTTL社が共同組成するIRコンソーシアムに参画する予定です。その進捗は、公表可能な範囲において、適宜お知らせいたします。

ご質問、ご意見に対するご説明

多数のご質問・ご意見をいただきまして、心より御礼申し上げます。

お寄せいただきましたご質問・ご意見に対する説明が、該当事業における顧客情報等を含め、今後の営業活動に支障をきたすと想定されるもの、インサイダー取引規制に抵触する可能性が想定されるもの、ならびに本事業説明資料の内容がご回答となるもの、その他適時開示を要する内容へのご説明は差し控えさせていただいております。

**一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、
皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。**

PIXEL COMPANYYZ INC.